

平成29年1月28日（土）、関西医療学園校友会の新年会がスイスホテル南海大阪7F 芙蓉の間にて開催されました。

専門学校の柔道部会、東洋医療部会、理学療法部会の三部会と、大学の鍼灸部会、ヘルスプロモーション部会、大学理学療法部会、看護部会の四部会大きな組織となった校友会の新年会ですが、今年より大学臨床検査部会が新たに加わったことで、さらに大きな組織になっていきます。

山本将揮大学理学療法部会副会長の司会のもと、林利彦会長のご発声から新年会が開催されました。その後、武田大輔理事長にご挨拶を頂き、引き続き吉田宗平関西医療大学長からご祝辞を頂きました。その後、お越しいただいた来賓の武田秀孝関西医療学園学园长、川本正純関西鍼灸柔整協同組合代表理事をご紹介があり、4月から新しく出来る臨床検査部会の役員の方の紹介がありました。そして、関考一校友会監事の乾杯のご発声で宴席がスタートいたしました。

これほどまでに大きな組織となった校友会で、例年にも増して参加者も非常に多かったのですが、各部会の垣根を越えて、また時間を忘れて先生方がご歓談されていたのが非常に印象的でした。そして恒例でもある橋本先生の歌が披露され、会場は大いに盛り上がり、その熱気のまま学園歌が斉唱され、会場の一致団結感はさらに増していきました。

最後を締めくくる万歳三唱は岩本光司校友会監事によって行われ、最後は黒山紀男校友会副会長のご挨拶で閉会いたしました。その後、去年に引き続き、全員での記念写真を撮りおひらきとなりました。

関西医療学園の校友会は、大学の学科の増設により、さらに巨大な組織となります。昨今の社会情勢は、我々が携わる医療と介護業界に大きな影響を及ぼしており、生き残るための手段を生み出していかなければならない状況となっています。しかし本学園の校友会のような大きな組織いることが出来るということは、様々な情報交換や共有を行うことができ、今後予想される2025年以降の問題に対しても対応できると確信できました。

